

ムズ

2016年(平成28年) 4月3日(日) (2)

園内の雪をロータリー車で吹き飛ばしていった



## オホーツク公園内を除雪

### 網走工業 今年で11年目の奉仕

少しでも早く利用できようにと、網走工業(笠谷俊一社長)が今年も道立オホーツク公園内を除雪奉仕した。同公園は、大型連休に合わせてオートキャンプ場がオープンするため、冬季閉鎖しているキャンプ場ロッジへの引越し作業などの準備に追われる。冬から春への衣替えシーズンに合わせ同社は毎年ボランティアで公園内を除雪しており、今年で11年目になる。今年には雪が少ないのに加え、気温の高い日が多いことから雪解けも進んでおり、例年よりも積雪は少なめ。それでも深いところでは40-50センチの雪がある。作業は同社の大型ロータリー車を使い、公園内の園路2・7キロをはじめ、キャンプ場ロッジや各施設の周辺などに積もった雪を吹き飛ばしていった。同公園管理事務所は「今年も園内を除雪してもらい、ありがたい」と、同社の善意に感謝していた。園内は昨年グラウンドオープンした屋外遊具広場も遊具が顔を出し始めている。(伊藤)